

【高知県立大学】

特別聴講学生

氏名： ^{りん} 林 ^{りっせい} 立偉
国籍： 台湾（高雄市）



高知での暮らしについて

高知に来る前には、実は少し不安だった。ずっと日本語を学んできたが、初めて日本人ばかりのところに暮らすのは、とても心細かった。しかし、高知は本当にいいところなので、ここの生活にすぐ慣れた。この十ヶ月もいろいろなイベントに参加した。

高知には豊富な漁業資源があって、その中で一番好きなのは鰹だ。私は新鮮でおいしい鰹を食べるために、鰹をテーマとする居酒屋にアルバイトをしました。しかも高知の人はとても優しく、私が留学生ということを知ったら、もっと親切になった。私もよくバイトのお客さんに台湾について、グルメとか観光スポットを紹介して、互いに国際交流をした。それはとてもいい経験だと思う。

八月、私は踊り子としてよさこい祭りに参加した。観光客ではなく参加者としてよさこい祭りに参加するのは今回しかないと思ったので、思い切って申し込んだ。毎週三回以上高知県立大学から高知大学まで通って、正直に言うと本当に疲れた。あの時は学校の勉強とアルバイトがあって、本当に諦めたいところだった。しかし本祭当日、何万人の前で自分の練習の成果を披露して、皆一丸となって汗をかいたことは、一生忘れない。私も心からよさこい祭りが好きになった。また機会があれば、もう一度参加したいと思う。

また、夏休みには、せっかく四国に来たので、四国内を旅行した。そこで、本当に東京や大阪などの大都市とは全然違う雰囲気だと感じた。自然景観もきれいだし、空気もきれいだし、人もよりフレンドリーだ。高知の桂浜や四万十町などいろいろなところも行った。この時は本当に高知に留学してよかったなと思った。

今回の留学を通じて、たくさんの人と交流した。学校でも全国各地からの人と友達になって、自分の視野も大きく広がった。高知の伝統文化についても学校と交流会を通じていろいろ勉強した。帰国後も、台湾の皆にあまり知られていない高知の良さを伝えたいと思う。

【高知県立大学】

健康栄養学部 1 年生

氏名： ろ せい
 呂 倩

国籍： 中国（江蘇省）



最初高知県立大学を選んだ理由は健康栄養に関する学部に入りたくて、友達の紹介で、今年二回生の^{でん}田さんと知り合いになったからです。それは高知との縁とも言えると思いました。

高知県立大学へ面接に来たとき、初めてだから、バスとか全然知らなかったの、バス停前で立って、じっと時刻表を見ました。そのとき、すぐ隣に人がきて、とても親切に聞いてくれました。その時から、高知に好感を持ちました。面接の時も、接待の先生と面接の先生はみんなよくて、もっと高知県立大学に来たかったです。最後は運が良くて、高知県立大学に合格しました。

高知県立大学で勉強して以来、毎日充実の生活を送っています。授業で、自分が好きな知識をたくさん頂いて、本当に嬉しいです。わたしは小さい頃から食事に興味を持っていました。日本にきたばかりの時、まだ栄養学の学部を知りませんでした。言語学校で勉強する時、先生に興味を聞かれて、ご飯を作ることと返事して、先生に栄養学部を勧められました。それのおかげで、自分が好きなものを勉強することができて、本当に良かったです。授業が終わった後、自立して生活できるようにバイトもしています。バイトをする時も、勉強になると思っています。それは、人との付き合い、仕事をするときの能力や日本語の勉強などがあります。

それに、ここで、^{でん}田さんだけではなく、別の中国の先輩とも友達になりました。みんな時々一緒に集まり、美味しいものを食べるとか、映画をみるとかいろいろな面白いことをしています。それは本当に嬉しいと思います。もちろん、クラスで日本人の友達もできました。彼女たちは本当に優しくて扱ってくれました。特に、ある可愛い子は時々美味しいおやつを作ってくれ、うまくて感動しました。もちろん、特例ではなくて、みんな優しい人です。友達になった彼女たちと一緒に授業を受け、勉強し、生活上もお互いに手伝って、なんか外国でもとても安心な感じがしました。

これからも充実した毎日を送りたいです。自分の目標のために頑張ります。